



SHOU-TO

～ 勇気ある決断～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 竹ノ内賢一郎  
◆編集責任者/担当 副会長 上田康文 ◆制作・編集 第42期広報委員会/委員長 石原 効

# 第43期 次年度会長決定！

## 三輪龍介 次年度会長プロフィール

- 【氏 名】三輪龍介
- 【生 年 月】昭和48年8月
- 【所属企業・役職】株式会社アイクス 第一経営支援部 部長
- 【入会年度】平成22年度(第36期・平成22年7月入会)
- 【中央会経歴】平成24年度副委員長/平成26年度委員長/  
平成27年度副会長/平成28年度監事
- 【趣 味】音楽鑑賞、ぶらぶら歩く
- 【座右の銘】「是々非々」



この度、鳥取県西部中小企業青年中央会第43期会長に承認頂きました三輪龍介と申します。どうぞよろしくお願い致します。竹ノ内会長から次年度会長のお話を頂戴した時、「42年間の歴史と伝統のある会の会長に」というのは、大変光栄なことと思うと同時に非常に重く、自分に務まるのか？自分で良いのか？自分は会に対して何が出来るのか？など色々と考えました。

考えに考え、竹ノ内会長の勇気ある決断を受けとめ次に繋ぐことが私の役割であり、その与えられた役割を精一杯やらせて頂くとお受けする決断を致しました。

そして何とも言えない不安と緊張で2月15日の臨時総会を迎えましたが、会員の皆様からの「異議なし」の大きな声を耳にし、大変勇気づけられ、身の引き締まる思いで腹をくくることができました。

当会に入会して以来、多くのことを学ばせて頂き、素晴らしい先輩方や仲間、後輩と出会わせて頂いたことは、私にとって大きな財産です。このような財産を築かせて頂いた会に対して、何か少しでも恩返しが出来ればと考えております。

これから来期に向けて、これまでの良き伝統は継承しつつ時代や環境の変化に対応していけるよう準備をし、会員の皆様にとって実のある1年となる活動をして参ります。つきましては現役会員の皆様はもちろん、OB会員の皆様、関係者各位の皆様にはご指導、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

今期も残り4か月となりますが、会員全員で竹ノ内年度を盛り上げ、「翔人」となれるよう精一杯活動していきましょう。

## 先輩OBより「お祝いと激励」

北口 智明 OB (第36期会長・第38期県会長)  
 (有)キタグチ 代表取締役

この度は鳥取県西部青年中央会第43期会長承認おめでとうございます。

先ずもって中央会会長の大役を引き受けられた勇気ある決断に敬意を表します。

私は三輪次年度会長が入会された第36期会長を務めさせて頂きましたが、入会当初より存在感があり仲間意識も強く中央会活動に精力的に参加されていましたので、この度の会長承認の一報を聞き嬉しく思います。責任感の強い彼なら、この先もしっかり中央会の歴史を会員一丸となり担ってくれると信じております。

今は来期に向けた事業計画や人事選考等で頭を悩まされている頃と思います。大切な準備期間です。悔いを残さない為にも大いに挑戦して下さい。

最後に、西部青年中央会会員企業並びに関係各所皆様の今後更なるご発展とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

長谷川洋司 OB (第40期副会長・第41期専務理事)  
 WORKS 代表

三輪さん第43期会長決定おめでとうございます。

三輪次年度会長が第40期政治行政委員会委員長を務められた際に、担当副会長として共に活動させていただきました。

雑な私とは真逆のタイプのイメージがあり、私で大丈夫なのか？と心配しながら当時スタートしたわけですが、例会後や委員会後など活動を通じて中央会の事や委員会の取り組み・例会企画案などなど本当にいろいろな話をさせていただいたことを今でも懐かしく思います。

持ち前の融通のきかない頑固さを武器に自身の思いや考え方をしっかりと会員の皆様に伝え、他の人にはできない、三輪次年度会長にしかできない実りある一年にさせていただければと思います。

# 仲間を集めて地域に溶け込め

## ～2月例会～

2月例会では2名の会員が入会し、次年度会長として三輪監事が指名推薦され承認された。今回は株式会社studio-L代表取締役の山崎 亮氏を講師に、人と人が繋がるまちづくりについて講演され、クリックでは手に入らないサービスの必要性を訴えた。



平成29年2月15日、米子全日空ホテルにて2月例会が開催された。冒頭の挨拶で竹ノ内会長は「飛行機の窓から関東平野を見て、徳川家康はなぜ本拠地に東京(江戸)を選んだのかを考えていた。家康はこれからの時代、武力ではなく経済で回すという目的でこの地を選んだのでは」と持論を展開された。

### 「お祝い」

次に新入会員パッチ授与が行われた。安達信彦会員は「これから中央会の事を少しずつ勉強していく」、古木竜平会員は「右も左もわかりませんが前向きに挑戦していく」と抱負を述べた。

続いて住会員に女兒誕生のお祝いが授与された。「諸先輩方の助言を受けながらイクメンを実現したい」と述べ、翔女委員会が学んだことを実践する意欲を見せた。

当例会では臨時総会が行われ、第42期三輪龍介監事が第43期会長に推薦された。会場の大きな「異議なし」の声により満場一致で承認可決した。

続いて委員長タイムへと移った。担当は翔女委員会の吉田委員長で、サククスを始めたきっかけや楽器としての歴史・特徴を紹介した後、「セプテンバー」という曲を披露された。手拍子の中、吉田委員長が奏する音色に全会員が酔いしれた。



### 「田中委員長の思い ～人と人～」



講演の前には田中委員長より「中心市街地活性化に向けてハードは整ってきているが、課題があるにも関わらず住民の声が届いていない。人と人がつながる仕組みを作ることをテーマにご講演頂く」と趣旨説明があった。

続いて講演に移ったが、山崎氏の「コミュニティデザイン」との出会いは着工済みの公園マネージメントの依頼であったとのこと。その際、山崎氏はディズニーランドを手本に、10人程度で楽しめるイベントを週末にいくつも開

催し、公園に人が集まる仕組みを作りだした。加えてイベント内容をメール配信することでリピーターを増やし、年を追うごとに来園数が増えていった実例を紹介された。



次に、まちづくりに話題が変わった。かつては都会で流行った「モノ」が手に入るのは中心市街地だけだったが、物流が発達しどこでも「モノ」が手に入るようになり、街の求心力はなくなってしまった。ただ、人と人が繋がるのは今も中心市街地に他ならない。地域の人の関わりを大切にし、地域経済を知っている人を増やすこと。そして「地元企業を応援」といった信条論だけではなく、進歩する技術も取り入れていく必要性を訴え、講演を締めくくられた。(記事・高田)

## 2月例会を終えて

### 政治ビジネス委員会 委員長 田中 猛 (田中正夫建築設計事務所 米子事務所長)



株式会社studio-Lの山崎亮氏を講師にお招きした2月例会はいかがでしたでしょうか？通常はまちづくりの第一人者としてご講演をされていますが、中央会は経済人の集まりなので、各人が自らのビジネスにも活かせるような話もお願いしたいと無理を言ったところ、あまり自信がないとご謙遜されながらも、随所にビジネス的な話を織り交ぜながら、かなりのボリュームのご講演を頂きました。

当日の雰囲気や集まっている人たちを見ながら、話す内容を変えたいというのは聞いていましたが、のっけから講演会スタイルではないのをやってみようかなと発言され、私は最後まで気が気でありませんでした。しかし、軽妙な語り口や熱量に圧倒され、終わってみるとジェットコースターに乗せられたような気分でした。

事前に安来市であった講演会に委員会メンバーで参加した時とは、話す内容も雰囲気もまったく違い、あらためて山崎氏の話の引き出しの多さを感じ、本当にお呼び出来て良かったと思います。

何はともあれ、今回も委員会メンバーには全力で助けて頂きました。当日のリハーサルはメンバーに全て任せ、私は山崎先生と米子の中心市街地を散策し、その成果を講演内容に反映できたのも、全て頼もしい委員会メンバーのお陰です。あと残り4カ月、締めまでよろしくお願ひ致します。

## 3月例会に向けて

### 翔女委員会 委員長 吉田通代



現在、女性の労働人口は、年々増加傾向にあります。

そこで翔女委員会では、二つのテーマに沿って企業へ訪問をしてきました。

一つは「今まで男性が中心となり働いていたが、女性の雇用を増やしている企業」、もう一つは「女性が中心となり働いている企業や従業員へのフォローなど」です。

二つの違う環境における女性の雇用についての現状を把握することで、偏りのない目線で社会における女性の活躍について、課題を検証できると考えています。「女性が職場に何を求めているのか」「女性を雇用している企業の取り組み」を知って頂き、近い将来やってくるであろう雇用状況を思い描きながら考えていきます。

お忙しい時期ですが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## OB訪問 税理士法人 田中事務所代表

### 田中康裕OB（第34期ご卒会）を訪ねて



田中康裕OBは、本業である税理士としての活動だけでなく、寿スピリッツ(株)の社外取締役を務めておられるなど、多方面でご活躍されています。

現役当時第20期地域交流委員会のメンバーとして、多いときには月に4回も委員会を開催し、スポンサー企業の協力を得るなどして、現在まで続いているジュニアトライアスロンを立ち上げたことが特に思い出に残っているとのこと。新たな継続事業の立ち上げには強烈な思いを持ったリーダーとそれ支える仲間、チームワークが必

要だと語っていただきました。

田中OBの会社では「喜ばれる価値を創造し、喜ばれるサービスを提供する」を経営理念とされており、事業を成功させるためには経営理念を組織に浸透させることが重要であるとのこと。そして「自分は28歳で入会して、先輩から経営のやり方、人の使い方、トップとしての生き方など多くのことを学び、今に生きている。仕事あつての中央会活動。会員企業同士で取引をして儲けるのではなく、先輩や仲間からノウハウを吸収して経営に生かして欲しい。鳥取県西部に留まることなく、視野を広げた活動をして欲しい」とアドバイスをいただきました。

決算と個人の確定申告が重なる大変お忙しい時期に快く取材に応じていただきありがとうございます。

(記事:野口)

### 中央会 Q & A

中央会史上、一番会員数が多かったのは、いつだったでしょうか？

～答えはHPIにて～

## 第2回大山お地蔵さまプロジェクトに向けて 各部長抱負(前編)

### お地蔵さま巡り部 部長 山崎慎也 (株やまさき 代表取締役)

巡り部は、現在大山に鎮座する33体のお地蔵さまのうち5体を巡る『良縁コース』を企画しています。お地蔵さまとその周辺を清掃しながらスタンプラリーを行い、子ども達が楽しみながらお地蔵さまと触れ合う、参加された方の心に残る事業にしたいと思っています。当日は清掃部と連携を密にし、多数のボランティアや親子の方をお迎えすることになりますので、精一杯頑張ってお参ります。オール中央会でお地蔵さまフェスティバルの成功に向け頑張っていきたいと思います！



### お地蔵さま清掃部 部長 森下 知紀 (西尾レントオール(株)米子営業所 所長)

お地蔵さまフェスティバルに向けて清掃部は、お地蔵さまやその周辺を清掃・整備することで、普段から大山やお地蔵さまに親しみやすい環境をつくりたいです。

そして一般のボランティアの皆様が清掃活動を通じて大山のお地蔵さまに興味を持ってもらい、参加する子供たちがお地蔵さまに触れることで目に見えない何かを感じてもらえるように、また感じることによる心の成長につながるよう取り組んでいきますので、皆様ぜひご家族でご参加下さい。



### お地蔵さま作品部 部長 足立 駿 (足立ふとん店米子店 店長)

作品部では、塗り絵や絵画、軍手地蔵といった作品群で、お地蔵さまフェスティバルをより賑やかに彩る予定です。

フェスティバルにお越し頂く皆様に笑顔になって頂けるような作品展を作り上げていきたいです！作品を作られた方はもちろん、すべての方に見て頂ける、足を止めて頂ける作品展を目指しています！精一杯がんばりますので、皆様のご協力、ご参加を宜しくお願い致します！



## 後輩へ

今回、やっとこの記事を書く依頼がやってきました。入会してからこれまでにお世話になりました皆様に感謝と共にお礼を申し上げます。平成13年入会して15年以上の月日が経ってしまい、思い返しますと本当にたくさんの皆様にお世話になった記憶しかありません。そして後輩の現役会員のみならず、15年分のことを書きますと、とても500文字では終わりませんし終わらせる文書力がありませんので、お会いした時にお話させていただきたいと思います。短いですがこれにて終わらせていただきます。

最後に綱領の「英知・友愛・団結」この言葉が中央会だと思っておりますので、頑張ってお参りして下さいます。

本当にありがとうございます。

### 小椋 崇永 (焼肉うえば 店長)



## 翔人になるために ～ de Japon ～

第42期会長 竹ノ内賢一郎

早いもので、昨年2月の臨時総会から1年が経過しました！41期松田会長からお話を頂いてからあっという間で、随分色々な経験をさせて頂きました！最後の最後でお話をしようと思いますが、もしかすると西部青年中央会の活動原点・原動力はこれなのか？というものが残っているように思います。残りの期間はそれを自分自身の確信に変えるために一緒に汗と涙を流していきたいです！



## 大山にまつわる思い出

野口健太郎 (野口電工 代表)

一年中季節を楽しめますが、私のとつての大山はやはり冬が一番の思い出です。子供の頃はスキー、社会人になるとスノーボードに毎週のように出かけていました。

最近では息子とソリ遊びに出かけ雪山を楽しんでいます。初めての時は大雪に戸惑っていた息子も、帰りたくないと言いつつ楽しんでくれるようになり、嬉しく思います。

山は楽しいだけでなく、山のルールを守らないことで危険も伴いますが、雄大な自然を感じながら楽しめる大山は私にとって良い遊び場であり学びの場であると思います。



### 安達 信彦

A型

(匠委員会)

榊平設計 設計課長  
建築設計・監理  
〒683-0067 米子市東町177番地 東町ビル2階  
TEL 32-6161 FAX 22-6151  
(KT) 070-2354-3974  
(EM) n.adachi@tairasekkei.com  
S 55.09生

〈コメント〉この度入会させて頂きました。(榊平設計)の安達と申します。入ったばかりで右も左も分からない状態ですが、一つ一つ勉強し、成長していきたいと思っております。ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、宜しくお願い致します。



### 古木 竜平

A型

(積善委員会)

One's 代表  
自動車販売、整備  
〒684-0033 境港市上道町3583  
TEL 21-9370 FAX 21-9380  
(KT) 090-7990-4828  
(EM) ryyuhei.0716@outlook.jp  
S 59.07生

〈コメント〉皆様初めまして。境港市で自動車販売、整備の会社を経営しております古木と申します。私のモットーは「日々挑戦・日々進化」です。中央会においても、何事にも挑戦し少しでも早く皆様のお力になれるよう頑張りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

## お誕生おめでとう



### 住くるみちゃん

(住 真介会員 第1子)

平成29年1月23日生まれ

翔女委員会の住です。平成29年1月23日、第1子の長女・くるみが誕生しました。大雪のなか生まれた元気な子です。

先輩パパ会員の皆さまから子育てについて学び、イクメンを実践したいと思います。



## 勇気ある決断

副会長 濱田 修

私は委員長のとときにボランティア部長も同時に務めました。以前よりボラ部長の打診があり、大変な役だと躊躇い悩んだ末に覚悟を決めて内諾した後、更に委員長の指名も頂いたのです。正直困惑しましたが、望んで就ける役ではないと肚を決めました。活動が重なる4～6月は担当例会や、委員会活動の成果物の作成もあり大変でしたが、周囲の協力もあって乗り切れました。全てが終わったときは脱力感を覚える程でしたが、役をしたからこそ経験できたこともありました。とくに北海道庁での意見交換会や、トライアスロン競技終了直後にフィニッシュゲート前で大会の締めをさせて頂いたことは良い思い出ですし、何より自分なりにやり遂げたことで自身の身になったと思います。

## 厄払い祈願

平成29年1月16日、昭和50年(後厄)・昭和51年(本厄)・昭和52年(後厄)生まれの12名が厄除けに米子市博労町の勝田神社を参拝した。慣れない礼儀作法に戸惑いながらも、参加者全員で厄除開運を祈願した。その後、海潮園にて懇親会を実施。普段は委員会単位で活動することが多い中央会の会員だが、今回の行事を通じ同世代の団結を深める良い機会ともなった。



(記事:松井)

## 3月役員会報告

3月役員会が同月1日(水)米子市公会堂第5集会室にて開催されました。当日の主な内容は以下のとおりです。

- ・2月例会開催報告の件
- ・3月例会開催の件
- ・4月例会開催の件

詳細については各委員長にご確認下さい。

## 3月例会案内

と き：平成29年3月16日(木) 19:00～21:00

と ころ：米子全日空ホテル2階(飛鳥の間 東)

内 容：テーマ「女性にモテる企業とは」

第1部「女性が求める職場」

～男性上司は何も分かっていない！～

「進化する職場と女性雇用」

～企業はどのように取り組むの？～

(グループディスカッション)

第2部 女性の雇用と補助金

担 当：第42期 翔女委員会

## 編集後記

編集後記を書きかけて、入会10年目で広報系委員会に6回もいる事にも驚く。

…これはやっぱり、中央会内FA制度を上程した方が良さそうだ。(笑)

特定の役割を特定の会員ばかりがやっても「自己の研鑽」にならないので、人材育成の重要性も広報しつつ、今期の残りを頑張りたい。

(広報委員会 竹谷友成)